

[衛生指導課業務]

県並びに生産者団体及び畜産関係団体等と連携を強化しながら、自衛防疫の推進を図り、家畜伝染病予防に係る以下の事業を行いました。

1) 補助・助成事業

(1) 国庫事業

① 牛疾病検査円滑化推進対策事業

BSE（牛海綿状脳症）検査機関に職員を配置し、BSE の発生予防のため、県との連携の連絡を密にし、BSE 検査及び死亡牛の適正な処理を推進しました。

また、県、生産者団体、化製業者、死亡獣畜取扱業者等からなる協議会を開催し、円滑な事業を推進しました。

死亡牛検査処理状況 (平成 31 年 3 月末現在)

区 分	計 画	実 績	備 考
48 ヶ月以上	300 頭	282 頭	内補助対象外 1 頭
24 ヶ月以上 48 ヶ月未満	0 頭	276 頭	
7 ヶ月以上 24 ヶ月未満	0 頭	191 頭	
7 ヶ月未満	0 頭	348 頭	
合 計	300 頭	1,097 頭	

② 家畜生産農場清浄化支援対策事業

a) 疾病清浄化支援対策

(a) EBL 対策

牛白血病の感染拡大を防止するための講習会を開催し、牛白血病対策実施農場牛白血病陽性牛の確認及び陰性牛の流通を推進するための検査に要する経費の助成を行いました。

(b) BVD-MD 病対策（牛ウイルス性下痢・粘膜病対策）

BVD-MD 病のまん延防止及び清浄化を推進するための講習会を開催し、持続感染牛(PI 牛)のとう汰を実施しました。

(2) 独立行政法人農畜産業振興機構事業

① 家畜防疫互助基金支援事業

豚コレラ、口蹄疫等の海外悪性伝染病が発生した場合、飼養家畜のとう汰に伴う損失を生産者等が互助補償する仕組みを支援するため、生産者等に対し、事業の加入推進・普及・連絡調整等を行いました。

家畜防疫互助事業生産者積立金状況

乳用牛・肉用牛

(平成 31 年 3 月末現在)

	家畜の種類	戸数	頭数	積立金額
乳用牛	24ヶ月齢以上	36	5,683	1,335,505
	24ヶ月齢未満	28	1,278	121,410
肉専用種繁殖雌牛	24ヶ月齢以上	30	1,285	289,125
肉専用種繁殖雌牛 肉専用種肥育牛	24ヶ月齢未満	47	21,750	2,392,500
肉専用種と乳用種 の交雑肥育牛		16	2,574	270,270
乳用種肥育牛		7	170	16,150
計		164	32,740	4,424,960

豚

(平成 31 年 3 月末現在)

	家畜の種類	戸数	頭数	積立金額
家族型	繁殖用種豚(雌)	23	3,903	468,360
	繁殖用種豚(雄)	21	184	22,080
	肥育豚	25	40,370	1,211,100
企業型	繁殖用種豚(雌)	9	5,106	638,250
	繁殖用種豚(雄)	7	103	12,875
	肥育豚	9	48,570	1,699,950
計		94	98,236	4,052,615

※戸数は延べ戸数です。

(3) 公益社団法人中央畜産会事業

① 衛生体制強化基金事業

「ブータンに見るウシの交雑利用」と題して海外の畜産事情の講演会を開催しました。

② 馬防疫強化地域推進対策事業

a) 馬ワクチン接種等地域推進対策検討会開催等事業

馬ワクチン接種等地域推進対策検討会を開催し、乗用馬、農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種の推進の検討をした。

b) 馬インフルエンザワクチン接種推進事業

競走馬以外の乗用馬、農用馬等に馬インフルエンザワクチン接種を行った。

馬インフルエンザワクチン接種頭数

乗馬クラブ等	計 画	実 績
6	100 頭	82 頭

③ 馬飼養衛生管理特別対策事業

馬飼養衛生管理に関する講習会の開催、馬の獣医療の実態調査の実施について検討会を開催し、事業の推進を図りました。

④ 地域自衛防疫取組促進対策事業

a) 地域自衛防疫強化推進事業

地域自衛防疫体制の確認、防疫演習等の有効な活動方策、慢性感染症の対策の推進、検討等を行いました。

b) 地域自衛防疫活動推進対策

地域の実態に即した自衛防疫活動を畜種別に防疫演習を開催し、地域防疫体制の整備、定着を図りました。

c) 慢性感染症清浄化支援対策

牛白血病及び牛マイコプラズマ性乳房炎の清浄化に向けて防疫支援のための検討会、清浄化、普及推進を行いました。

2) 受託事業

(1) 公益社団法人中央畜産会

① 農場 HACCP 取組体制緊急強化事業

a) 普及推進協議会

農場 HACCP 認証農場関係者等を講師とした普及のための検討会を開催し、認証を目指す農場の支援を行いました。

b) 地域取組促進活動

農場 HACCP 認証への取組み効果の周知を行いました。

c) 農場 HACCP 認証構築指導推進事業

農場認証に取り組む農場を対象に出向き、構築指導を行いました。

② 畜産 GAP 拡大推進加速化事業

日本版畜産 GAP の認証取得を目指す農家に対し研修会を開催し、普及推進を図りました。

4) 平成 30 年度の主な行事

(平成 31 年度 3 月末現在)

年	月	日	行 事 内 容	
30	5	17	防疫事業推進会議	
		28	農場 HACCP 取組体制緊急強化事業に係る全国推進会 東京都	
	6	7	農場 HACCP 取組体制緊急強化事業検討会	
		11	地域自衛防疫取組促進対策事業に係る全国推進会議 東京都	
	7	17	馬飼養衛生管理特別対策事業に係る全国会議 東京都	
		26~27	JGAP 指導員基礎研修会	
	9	31	地域自衛防疫取組促進対策事業に係る防疫演習(口蹄疫)	
		7	高病原性鳥インフルエンザ 防疫研修会(地域自衛防疫取組促進事業)	
		27	農場 HACCP 普及推進協議会	
	10	3	馬飼養衛生管理体制整備委員会	
		12	第 1 回 JGAP 研修会	
		16	(防疫演習) 鶏 (地域自衛防疫取組促進事業)	
		30	(防疫演習) 高病原性鳥インフルエンザの現状と課題	
	11	7	JGAP チャレンジ取組セミナー	
		14	牛白血病検討会(地域自衛防疫取組促進事業)	
		27	東京オリパラ三重県農林水産協議会畜産部会	
	12	18	牛マイコプラズマ乳房炎検討会	
		18	地域自衛防疫取組促進対策事業に係る検討会	
	31	1	10	BVD-MD 研修会(家畜生産農場衛生対策事業)
			18	死亡牛事業推進会議(牛疾病検査円滑化推進対策事業)
23			馬飼養衛生管理講習会	
30			ELV 研修会(家畜生産農場衛生対策事業)	
2		13	(防疫演習) 養豚(地域自衛防疫取組促進事業)	
		22	防疫事業推進会議	
3		26	第 2 回 JGAP 研修会	
		14	東京オリパラ三重県農林水産協議会畜産部会	
		28	地域馬飼養衛生管理体制整備委員会	
		28	馬防疫地域推進検討会	